

令和7年 第5回（9月） 筑紫野市議会定例会  
【文教福祉常任委員会 委員長報告】

認定第4号及び認定第5号の2件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

まず、『認定第4号 令和6年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計歳入歳出決算の認定』の件について、ご報告いたします。

執行部からは、歳入歳出決算書、及び関係資料に基づく説明を受けました。

委員会では、希望者が奨学金を貸与されないことはあるのかとの質疑があり、執行部からは、収入の基準額に収まる方には全て貸与しているとの答弁がありました。

また、一委員からは、不納欠損は出ていないとのことだが、今後の考え方はとの質疑があり、執行部からは、債権管理条例に基づき収納課と連携し整理をしていきたいと考えているとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり認定すべきものと決しました。

次に、『認定第5号 令和6年度筑紫野市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定』の件について、ご報告いたします。

執行部からは、歳入歳出決算書、及び関係資料に基づく説明を受けました。

委員会では、要介護認定者数の増加に対しサービス受給者数が横ばいであるが課題はあるのかとの質疑があり、執行部からは、サービス利用件数及びサービス給付費は増えているので、実態としては増えていると解しているとの答弁がありました。

また、一委員から、高齢者施設の職員の給料が安く人員不足であることの改善を求める要望も出ていたが、どう改善をはかれるのかとの質疑があり、執行部からは、介護施設の報酬については筑紫野市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画を定める際、実態調査のうえ課題抽出をしていきたい。また、国、県の取組みに対しては機会を捉えて市長会等で要望を行っていくことと併せて、市においては、就職フェアやDXの推進など、できることに随時取り組んでいきたいと考えているとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり認定すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和7年 第5回(9月) 筑紫野市議会定例会  
【文教福祉常任委員会 委員長報告】

『議案第51号 工事請負契約の締結』の件について、  
ご報告いたします。

本件は、筑紫野市文化会館の舞台照明設備の老朽化に伴い更新を行うものです。

委員会では、文化会館は建設から40数年経っているが、今後も補修をしていく方針かとの質疑があり、執行部からは、公共建築物長寿命化計画に基づき、大規模改修を行いながら長く使用していくことが基本的な方針であるとの答弁がありました。

また、一委員から、今回の更新によりどのようなことができるようになるのかとの質疑があり、執行部からは、全体的にLEDに取り替えるため、色彩が鮮やかになり、多彩な色表現ができるようになる、また、デジタル化により操作がしやすくなるとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和7年 第5回（9月） 筑紫野市議会定例会  
【文教福祉常任委員会 委員長報告】

議案第54号及び議案第55号の2件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

まず、『議案第54号 令和7年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計補正予算(第1号)』の件について、ご報告いたします。

本件の主な内容は、令和6年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計歳入歳出決算を踏まえ、令和7年度歳入予算のうち前年度繰越金を259万円増額し、併せて、一般会計繰入金を191万7千円、貸付金元利収入を40万円減額するものです。

質疑、討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第55号 令和7年度筑紫野市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)』の件について、ご報告いたします。

本件の主な内容は、歳出については、国からの交付金精算に伴う国庫支出金返還金1820万4千円の増額などで、歳入については、県からの交付金精算に伴う追加交付分として介護給付費負担金1926万2千円の増額などを行うものです。

質疑、討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。